【体験授業用教材】 L3M

本科０期１月度（Ａターム）１回目

Ｚ会東大進学教室【体験授業用教材（抜粋版）】

# 早大国語

# 目次


はじめに …… 2

1章 問題（演習）『大鏡』 …… 4
問題（自習）『土佐日記』 …… 8
2章 問題（演習）『枕草子』 …… 12
問題（自習）『大鏡』 …… 16
3章 問題（演習）『韓非子』 …… 18
問題（自習）『韓非子』 …… 22
4章 問題（演習）『飲酒』 …… 26
問題（自習）梅堯臣の詩 …… 28
5章 問題（演習）鷲田清一『ちぐはぐな身体』 …… 30
問題（自習）鷲田清一『死なないでいる理由』 …… 36
6章 問題（演習）石田佐恵子『有名性という文化装置』 …… 42
問題（自習）三浦雅士『考える身体』 …… 48
7章 問題（演習）村上陽一郎の文章 …… 54
問題（自習）飯田年穂『問いかける山』 …… 58
8章 問題（演習）『大鏡』 …… 62
問題（自習）『伊勢物語』 …… 66
9章 問題（演習）『源氏物語』 …… 70
問題（自習）『源氏物語』 …… 72

付録 古文活用一覧 …… 76

# はじめに

## 一　Z会の教室　国語の指導方針

国語で安定した得点をとるためには、問題文の主題をとらえて正確に文章構造を見抜く読解力と、読解の結果を「解答」として採点者に正しく伝える言語運用能力を鍛える必要があります。

こうした学力の養成に向けて、国語科では「量」ではなく「質」を重視するというZ会の指導理念に則った指導を行います。むやみに多くの文章を読み流し、ひたすら多くの設問を解くのではなく、一つの文章にじっくりと取り組み、詳細な解説講義を行います。単にその問題をどう解くか、という観点にとどまらず、「同じテーマ・ジャンルの文章にはどのように対処するか」「このタイプの設問にはこうアプローチしていく」といった、他の問題にも応用可能な「考え方」を習得していくことを重視します。これにより、いかなる問題文が出題されても読解・解答できる力を養成します。

## 二　授業について

授業では「問題（演習）」を扱います。

「問題（自習）」は授業では扱わない、自習用の教材です。

**予習**

具体的な予習の方法は、受講開始後に担当講師から指示があります。以下は初めてZ会の国語の授業を受ける方への、初回授業の予習の目安です。

まずは文章全体を通読し、中心となるテーマや物語の展開について、大まかな内容を把握します。次にもう一度じっくりと読み通し、より精密に文章の内容を把握していきます。この段階では、必要な箇所では辞書を丁寧に引いて、じっくりと一文一文の内容理解に努めます。最後まで読み通すことができたら、さらにもう一度文章を通読し、議論や物語の展開がしっかりと頭に入ってきているかを確認しましょう。

設問に関しては、あらかじめ完全に解答を作成してくる必要はありません。ただし、可能な範囲で、自分なりに選択肢を選び、また記述解答の骨格を作成してみるとよいでしょう。

**※映像授業をご受講の皆様**

授業時間内に演習（問題文を読み、設問を解くこと）に取り組むため、原則として予習は不要です。ただし、授業の内容をより効果的に理解するために、事前に問題文に目を通しておくとよい場合があります。

・映像で問題演習の指示が出たら、映像を停止して問題に取り組みましょう。
・映像をご受講いただく前に、各講座のオリエンテーション映像をご覧ください。

**授業内**

解説授業を行います。問題文の丁寧な読解を通して、語彙の増強・論理構造の把握・文章の背景知識の伝授など、密度の濃い授業を行います。設問の解説では、問題文の正確な内容理解を土台に、選択式・記述式それぞれの設問についての正答に至るための考え方を確認していきます。選択式の問題では、どのように正解の選択肢を見極めていくか、記述式の問題では、設問の要求を見極めて解答を作成する手順を確認していきます。表現の細部にまで徹底的にこだわり、指定字数の長短に応じて、日本語として完結した正確な表現をまとめる訓練をします。

**復習**

まずは当日のうちに、授業での学習内容を振り返りながら、問題文をもう一度読み直しましょう。現代文では、文章の内容だけでなく、対比や例示といった「論理展開」も十分に意識しながら読み直しましょう。古文・漢文では、一つ一つの文について、意味の分からない語句が残っていないか、また文法的に理解があやふやなところがないかを確認しながら読み進めます。問題文を何度も音読してみることが効果的です。

設問については、「なぜそれが正解になるのか」「なぜこのような解答になるのか」を、他人にも説明できるくらいまで、解答に至る筋道を、本文中に根拠を求めながらもう一度確認しましょう。

授業で習得した読解・解答の方法を確認するため、自習用問題である「問題（自習）」にも取り組んでみましょう。

## 三　テキストの構成

※本科０期テキスト全体の構成です。

**●問題（演習）**

授業で扱う問題です。

**●問題（自習）**

自宅学習用の問題です。原則として授業では扱いません。

**●付録**

古典分野の読解に必要となる基礎知識を整理しています。

**●問題のレベルについて**

問題のレベルを★の個数によって三段階で表します。

★…基礎　　★★…標準　　★★★…応用（発展）

# 1章

## 【問題】（演習）★★

**次の文章は大納言藤原行成についての文章である。これを読んで、後の問に答えよ。**

この大納言殿、よろづにととのひたまへるに、1和歌の方や少しおくれたまへりけむ。殿上に*歌論議といふことも出できて、その道の人々、いかが問答すべきなど、歌の学問よりほかのこともなきに、この大納言殿は、ものものたまはざりければ、いかなることぞとて、なにがしの殿の、「*難波津に咲くやこの花冬ごもり、いかに」と聞えさせたまひければ、2とばかりもののたまはで、いみじう思し案ずるさまにもてなして、「え知らず」と答へさせたまへりけるに、人々笑ひて、こと醒めはべりAにけり。

すこしいたらぬことにも、御魂の深くおはして、らうらうじうしなしたまひける御根性にて、*帝幼くおはしまして、人々に、「遊び物どもまゐらせよ」と仰せられければ、さまざま、金・銀など心を尽くして、いかなることをがなと、3風流をし出でて、持てまゐりあひたるに、この殿は、*こまつぶりに*むらごの緒つけて奉りたまへりければ、「4あやしの物のさまや。こはなにぞ」と問はせたまひければ、「しかじかの物になむ」と申す。「まはして御覧じおはしませ。興ある物になむ」と申されければ、南殿に出でさせおはしまして、まはさせたまふに、いと

＊歌論議＝和歌の優劣についての論議。
＊難波津に……＝難波津に咲くやこの花冬ごもり今は春べと咲くやこの花（古今集・仮名序）。
＊帝＝後一条天皇。当時九歳だった。
＊こまつぶり＝独楽（コマ）。
＊むらごの緒＝濃淡に染めた紐。

広き殿のうちに、5のこらずくるべき歩けば、いみじう興ぜさせたまひて、これをのみつねに御覧じあそばせたまへば、6こと物どもは籠められにけり。

（『大鏡』）

問1　傍線1・3・4の意味として最適なものを次の中から選べ。

1「和歌の方や少しおくれたまへりけむ」

(ア)　和歌の席には少々遅れていらっしゃったのだろうか
(イ)　和歌の席では少々気おくれなさっていたのだろうか
(ウ)　和歌の論議の相手に少し物を贈っていらっしゃったのだろうか
(エ)　和歌の方面では少し劣っていらっしゃったのだろうか
(オ)　和歌を詠む係の人より少し遅くおいでになったのだろうか

3「風流をし出でて」

(ア)　和歌や管絃の遊びをし始めて
(イ)　趣向をこらした物を作り上げて
(ウ)　風流のわかる者たちを呼び出して
(エ)　遊びに関する趣深い和歌を詠み上げて
(オ)　帝の風情を解する心を汲み取ろうとして

4「あやしの物のさまや」

(ア)　奇妙な形の物だなあ
(イ)　恐ろしい姿の物の怪なのか

(ウ) 見苦しい様子の人だよ
(エ) 粗末な玩具の形だなあ
(オ) 不思議な形の玩具なのか

**問2** 傍線**2**を口語訳せよ。

**問3** 二重傍線A「に」・B「せ」と文法的に同じものを、それぞれ次の中から一つずつ選べ。

A「に」

(ア) 同じ死ぬるとも、敵にあうてこそ死にたけれ
(イ) 今に一条殿の御族あからさまにも入らぬところなり
(ウ) 七珍万宝さながら灰燼となりにき
(エ) なにがし寺といふ所に、かしこき行人はべる
(オ) おのが身は、この国の人にもあらず、月の都の人なり

B「せ」

(ア) 例の、声出ださせて、随人に歌はせたまふ。
(イ) 上おはしますに、ご覧じていみじう驚かせ給ふ。
(ウ) 帝、殿上に出でさせおはしまして、遊びおはしましける。
(エ) おほとのごもりぬる御けしきなれど、我がただまもりまゐらせて、
(オ) 夜ごとに人を据ゑてまもらせければ、行けどもえ会はで帰りけり。

問4　傍線5は何（誰）の状態を述べたものか。文中の語を用いて記せ。

問5　傍線6「こと」にあてはまる漢字を記せ。

《オリジナル問題》

# 体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。
Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。
次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

**《体験授業後の流れ》**

**お申し込み方法**

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。
※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。
※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。
※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。
※本科授業は、**「クラス授業」「映像授業」「個別指導」**が選べます。「時間の都合がつかない」「授業内でわからない部分だけを学習したい」という方には**「映像授業」**を、「映像授業で学習した内容で難しかった部分をしっかりと理解したい」という方は、映像授業を受講した後で個別を指導を受けられる**「個別指導」**を、それぞれおすすめします。
※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。予めご了承ください。

通話料無料 **0120-2828-76** 月曜日～土曜日 12:00～20:00（休室日を除く）

各教室電話番号（月曜日～土曜日 14:00～21:00（休室日を除く））

| | | | |
|---|---|---|---|
| 御茶ノ水教室 | 03-5296-2828 | 池袋教室 | 03-5985-2828 |
| 渋谷教室 | 03-5774-2828 | 横浜教室 | 045-313-2828 |
| 新宿教室 | 03-5304-2828 | 葛西教室 | 03-5878-0844 |

**お申し込み後の流れ**

お申し込みから1週間以内に手続書類（入会書類、お支払いについて、会員証など）をお送りします。
※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加は可能です。
※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

→ お申し込み後、テキストを各教室窓口にてお受け取りください。

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、
Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

**講座選択に迷ったら…**

学習相談は随時承っています。お電話でのご相談も可能です。
受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

## Z会の教室の受講サポート　―万全のシステムで効果的な学習をサポートします―

### 1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。
疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

### 2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。他教室への振替、映像授業（教室・自宅での受講）への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。
※振替手続は一週前の月曜から可能です。

### 3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随時承っています。

### 4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。